

生徒及び保護者のみなさまへ

## 新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について(お願い)

6月1日から本格的な教育活動が再開され、ちょうど半月が経ちました。学校再開を待ち望んだ生徒諸君、学校生活を満喫していますか。一方、5月末までの生活時間帯の影響で正規の学校生活時間に合わせるのに苦労した人がいたかもしれません。しかし、現在本校では、今までの学習内容を補うために7限授業を実施し、放課後には全学年が揃うわずかな期間を惜しむかのように多くの部活動が活発に行われています。このように、慌ただしい中でも、本校は例年通りの学校行事、学習を模索して今日に至っています。また、大運動会に向けては、運営委員長が決まり運営組織が出来上がりました。4人のブロック長とその構成クラスも編制され、今後、各セクションでのリーダーが決定していきます。部活動では6月中旬から7月末を目途に3年生の引退試合やセレモニーが各部活動で実施されます。例年と違った時期と内容で戸惑いもあるかもしれませんが、軸がぶれることなく慌てずに、大局を見据えて学習に部活動に励んで欲しいと思います。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大は県民一人一人の自覚ある行動の成果もあり、徐々におさまってきています。しかし、その反面、感染症についての誤った認識や、感染者やその家族、外国人等への偏見や誹謗中傷が表面化し、深刻な社会問題となっています。

本校では、「世のため 人のため」の精神の下、多くの機会をとらえ生徒一人一人の人権感覚の涵養に重きを置いて取り組んでいます。去る6月13日に新潟日報に掲載された株式会社コロナ（石油暖房機、エアコン等を取り扱う総合住宅設備メーカー）の小林一芳社長のメッセージが多くのメディアに取り上げられました。生徒諸君、次の文を読み、人権について正しく理解し、人権を取り巻く偏見や誹謗中傷について意識を高め、頭で理解し心で行動できる人になって欲しいと切に願っています。もし、何か困ったことがある時は学校に相談をしてください。

保護者のみなさまにおかれましては、今後とも本校の教育活動に関して、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和2年6月18日

修猷館高等学校 館長 高島 孝一

## コロナではたらくかぞくをもつ、キミへ

### 株式会社コロナ 社長から社員とその家族にエール

コロナではたらくかぞくをもつ、キミへ

まだまだ、せかいじゅうが、しんがたコロナウイルスで、たいへんなことになっているね。

そとであそべなくなったり、マスクをしなきゃいけないかったり、つらいこともたくさんあるとおもいます。

そんななかでも、わたしたちコロナは、くらしをゆたかにする“つぎのかいてき”をつくろうと、

きょうも、がんばっています。

コロナではたらいてくれている、

キミのおとうさんやおかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、

おじさん、おばさん、おにいさん、おねえさんも、

いっしょうけんめいです。みんな、じまんのしゃいんです。

いえにいるときのイメージとは、ちょっとちがうかもしれないけど。

もし、かぞくが、コロナではたらいているということで、キミにつらいことがあったり、なにかいやなおもいをしていたり

したら、ほんとうにごめんなさい。

かぞくも、キミも、なんにもわるくないから。

わたしたちは、コロナというなまえに、

じぶんたちのしごとに、ほこりをもっています。

キミのじまのかぞくは、

コロナのじまんのしゃいんです。

かぶしががいしゃコロナのしゃちょう より